

子どもの“楽しい”を大切に

子どもたちは毎日、登園から降園までたくさんの遊びをします。園庭ではブランコやジャングルジムの遊具で遊んだり、鬼ごっこやドッジボールなどの集団遊びも楽しみます。年々、暑さが厳しくなり、外で遊ぶ時間がこれからの時期制限されていきます。しかし、それによって子どもたちが身体を動かす機会を奪われないようにしたいと思っています。環境を整えたり、室内でも十分に体を動かすことができる時間を保障していけるよう保育の組み立てを考えていきます。私も幼児クラスの子どもたちと月に1回ほど遊ぶ時間を設けていますが、特別な運動をしているわけではありません。集団あそびをしたり、ルールのある遊びを楽しんだりしています。運動が“できる”とか“できない”ではなく、またはこれをできるようにさせたいと課題に向かわせるような活動はしていません。何より、身体を動かすことが“楽しい”“好き”と思って欲しいと願っています。乳児から幼児まで行うリズム遊びも大事にしている活動の一つです。子どもたちは色々な身体の動きを経験することで、少しずつ自分の身体の使い方を知っていきます。自分の身体を思うように動かせるようになると、色々なことに自ら挑戦していくようになります。たくさん動き、たくさん遊び、たくさん食べて、充実した毎日を過ごしてほしいと思います。

“子どもたちに平和な未来を”

上記のように、子どもたちが安心して思い切り遊べる環境を守っていくことも私たち大人の大きな役割です。私たちの法人では毎年、法人監事の方をお招きして10年ほど憲法の学習会を続けています。学習会を始めた頃は、“憲法”と聞き“難しい”と感じていた職員も多くいましたが、毎年の積み重ねにより、憲法は私たちの身近にあり、暮らしや保育の仕事と密接にかかわっていることを実感してきている職員が増えています。特に今の世界情勢は私たちの生活に及ぼす影響も大きく、今年は職員同士で色々な討議がされました。私たちは保育園で働く職員として、世の中の動きに関心を持ち、自分たちで正確な情報を選び取る力をつけていきたいと思っています。また、後に子どもの人権は生まれてからではなく、お腹にいる時から人権があるというお話も聞きました。私たちは子どもも大人も一人ひとりの人権を尊重し、周囲の人たちに平和の大切さを伝えていく立場だと考えています。日々の生活そのものがこれから先も憲法で守られ、子どもたちが安心して“楽しい”毎日を過ごしていけるよう、私たち自身ができることを考え行動していきたいと思っています。

どんぐり保育園はおかげさまで開園21周年を迎えました

昨年20周年を迎え、どんぐり保育園の歴史を改めて感じる年でした。また一步一步皆さまと共に歴史を刻んでいきたいと思っています。今後も「生きる力を育む保育」「違いを認めどの子ども共に」「つながる保護者仲間」の理念の元、保護者の皆様と子どもたち、職員そして地域の方々と手を取り合って進んで参りたいと思っています。今後どうぞよろしくお願ひいたします。